

# KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

科目名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
オペレーションズマネジメント要論		Z 216	1単位	1学期	ハイフレックス
Essentials of Operations Management					
科目分野		課程領域			
オペレーション		ビジネスマネジメント専門科目			
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
上野善信 秋葉淳一	-	メールアポイントにて随時			

## 関連している科目(履修推奨科目)

オペレーションズマネジメント特論1	オペレーションズマネジメント特論2
-------------------	-------------------

## 授業の概要と到達目標

### 授業の主題と概要

「オペレーション」とはモノやサービスといった「価値」を顧客に提供するため、調達・加工・輸送・販売などを行うプロセス一般をさすが、それはすなわち企業戦略の実践そのものである。そして、オペレーションに関する意思決定は、機能すなわち組織をまたがることが多いため、機能単位ではおこなうことができない経営判断である。本講義は、このオペレーションの管理、つまりオペレーションズマネジメントの入門編である。

講義、ミニケースによる演習を通じて下記点の修得を目指す。

- ・ オペレーションを考える枠組み(戦略/戦術/操業の時間軸×情報/モノ/カネの流れ)
- ・ バリューチェーン各段階での、コスト要因と改善方法
- ・ 企業、事業戦略からサプライチェーン戦略への展開

### 到達(修得)目標

オペレーションに関する様々な要因が能力やコストに影響を与えるメカニズムを概観し、ミニケースを通してそれら知識を修得する。

### 受講対象者

事業部門、管理部門、経営企画に携わる方 等

## 履修上の注意事項やアドバイス

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

## コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント		Z4: プレゼンテーション力		X4: 設計・開発	○
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力		X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

## プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1		

## 評価の方法

(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	10%	毎回、事務室より出席簿を準備する。 クラス内でのディスカッションや的確な質疑応答の内容は評価の対象とする。 演習/宿題においては授業の理解度を確認する。
クラスでの発言	20%	
演習/宿題の提出	70%	
<b>合計</b>	<b>100%</b>	

テキスト・参考図書など		備考		
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください				
テキスト (購入が必要)	随時配布			
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「コア・テキスト 生産管理」富田純一・糸久正人(新世社) 「生産マネジメント入門①<生産システム編>」藤本隆宏(日本経済新聞出版社) 「競争戦略論」青島矢一他(東洋経済新報社) 「サプライ・チェーンの設計と管理」D. スミチ他(朝倉書店) Matching Supply with Demand, Cachon・Terwiesch, McGraw-Hill			
参考URL				
適宜紹介予定				
コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	<イントロダクション> OMの視点、企業/事業/SC戦略、ポジショニングと組織能力、戦略と実行、意思決定の内容/階層 <外部環境の変化> 新興市場、グローバル化、市場の効率向上、二極分化、均質化、セグメントの細分化、ライフサイクルの短縮、モノからサービスへ、キャッシュフロー経営、環境経営 ケース:アップルケース <SCMの枠組み、アジル経営・キャッシュフロー経営> ケース:Dellケース フレームワーク:情報・モノ・カネ×戦略・戦術・オペレーション	・Dellケースを読む (ディスカッション準備)	上野	180分
	イベント			
3.4	<バリューチェーンとコスト構造①:調達1> 買うか作るか、取引費用経済学、規模の経済、最適生産規模、EOQ、陳腐化リスクとアジリティ、不確実性と安全在庫 <バリューチェーンとコスト構造②:製造> 陳腐化リスクとポストポーンメント、収益の最大化/Product Mix最適化、BOM/MRP、カンバン方式/リーン生産	宿題: 新聞少年問題 安全在庫削減効果の算定例題 ケース(パナソニック自転車)分析	上野	180分
	イベント			
5.6	<バリューチェーンとコスト構造④:販売> 安全在庫とリスク、待ち行列、レベニューマネージメント、立地とバーチャル化の意味 <製品の特性、需要の特性> 不確実性への対応、対応力と柔軟性、アジル経営、ポストポーンメント、ブルフィップ効果と情報 <製品アーキテクチャと産業構造> モジュラー/インテグラル、オープン/クローズ、イノベーションと産業構造の変化、商品ライフサイクルとSC戦略	レポート: ケース(中国のバイク産業)分析	上野	180分
	イベント			
7.8	<AIとオペレーション> ABEJA岡田代表によるゲスト講演 <サービス業のオペレーション分析> フレームワーク:サービスオペレーションの分析フレームワーク ケース:ベニハナケース	レポート: ケース(ベニハナ)分析	上野 秋葉	180分
	イベント			

※ 講義日程は、学事ポータルでの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容、スケジュール、講義形式は、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。